

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 5 年 12 月 1 日

所在地 山梨県甲府市丸の内 1-19-10
企業名 みずほ証券 (株) 甲府支店
代表者 甲府支店長 長谷川 保

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

当社では、2019 年度からの 5 カ年経営計画運営方針において、「資本市場を通してさまざまなステークホルダーをつなぐ“架け橋”となり、お客さま・市場・社会から最も信頼され、必要とされ、頼りにされる証券会社に」というビジョンを掲げています。環境の保全および内外の社会・経済・産業の持続的な発展・繁栄を目指す SDGs 達成に向け、証券機能の発揮を通じたお客さま・資本市場・社会への貢献に取り組んでまいります。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 4 年 12 月 1 日	
✓環境 □社会 □経済	グループ 7 社 (※) の国内外温室効果ガス排出量 (Scope1,2)	現状：35%削減 (2019 年度比) ⇒以降もカーボンニュートラルを継続	40%削減 (2022 年度)	(進捗率) 114%
□環境 ✓社会 □経済	女性管理職比率 (部長・課長相当職合算)	現状：20% ⇒2030 年：30%	19% (2023 年度)	(進捗率) 63%
□環境 □社会 ✓経済	みずほグループにおけるサステナブルファイナンス/環境ファイナンス額	現状：2019 年度～2030 年度累計 25 兆円 (うち環境ファイナンス 12 兆円) ⇒2030 年：維持する	2019 年度～2023 年度累計 21.2 兆円 (うち環境ファイナンス 8.1 兆円)	(進捗率) 84%

※グループ 7 社 (みずほフィナンシャルグループ、みずほ銀行、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほリサーチ&テクノロジーズ、アセットマネジメント One、米州みずほ)

2030年の目指す姿

<みずほ>は、自らの事業活動における GHG 排出量 (Scope1, 2) の 2030 年度カーボンニュートラル、及びファイナンスポートフォリオから発生する GHG 排出量 (Scope3) の 2050 年ネットゼロを目指します。更には、環境保全や SDGs 達成に向けた資金の流れを作るため、サステナブルファインス・環境ファインスの長期目標 (2030 年度までに累計 25 兆円) を設定し、積極的な資金提供を行います。また、<みずほ>は、顧客セグメント特性・ニーズに応じたサステナブルビジネス推進体制や、上流から下流までの金融・非金融両面の知見、ソリューション提供により、お客さまの持続的な成長・企業価値向上に貢献します。こうした取り組みを通じ、環境の保全および内外の経済・産業・社会の持続的な発展・繁栄と、<みずほ>の持続的かつ安定的な成長の同時実現を目指します。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。